

# 「家族の時間づくり」プロジェクトアンケート（亀山市）

## アンケート調査結果の概要【教員票】

### 「家族の時間づくり」プロジェクト実施概要

○三重県亀山市の取り組み	
プロジェクト 期間	5月2日(月)をお休みにして(市内小中学校・幼稚園が対象)、4月29日(金祝)から5月5日(木祝)を7連休とした。
内容	・大人と子どもと一緒に休む「家族の時間」づくり ・大人の休暇取得 ・充実した家族の時間を過ごすための取り組み、他

#### 1. 調査の概要

##### ○調査方法

亀山市内の小中学校・幼稚園を經由して、学校教員に配布・回収

##### ○調査対象

亀山市内の小中学校・幼稚園の学校教員（334名）

##### ○調査期間

2011年6月1日（水）～6月10日（金）

##### ○有効回答票数（回収率は配布数ベース、配布数：334票）

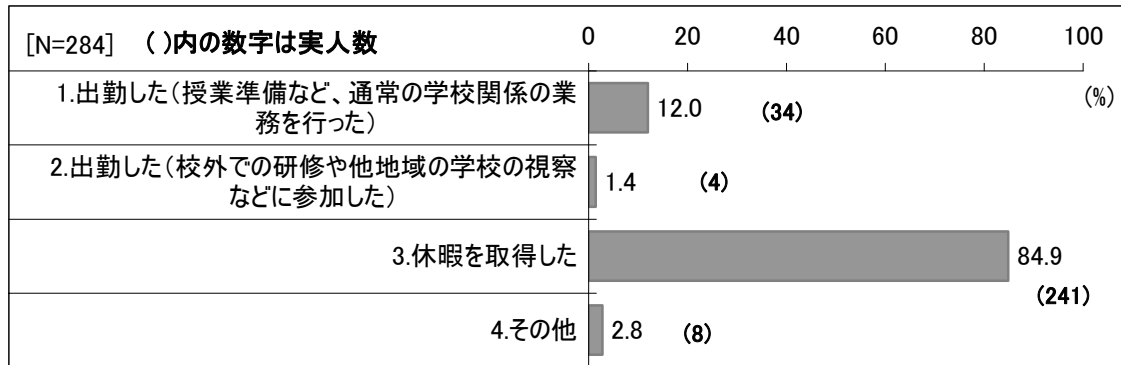
	合計
学級担任票回収数	284票
（回収率）	85.0%

## 2. 調査結果

問1 あなたは5月2日をどのように過ごされましたか。(あてはまる番号すべてに○印をお付けください)

「休暇を取得した」が最も多く、84.9%であった。

【図表1】5月2日の過ごし方（回答者数284票）（複数回答）

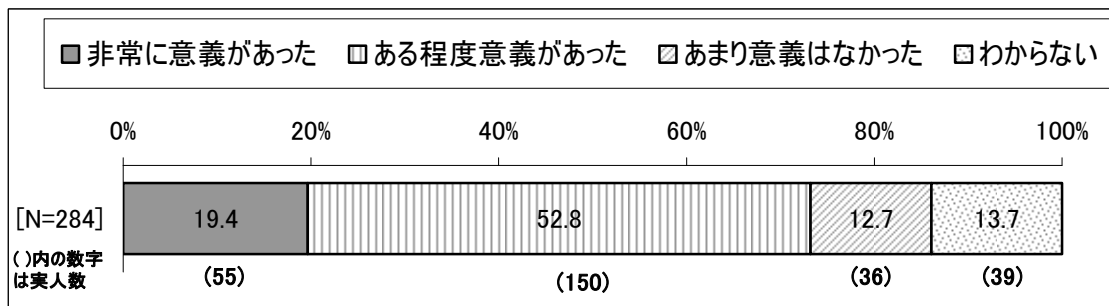


※図表内のNは設問への回答者数である

問2 今回、5月2日をお休みにし、7連休としたことは、子どもたちにとって意義があったと思われませんか。(1つだけ○印をお付けください)

「非常に意義があった」(19.4%)と「ある程度意義があった」(52.8%)を合わせて、72.2%が「意義があった」との回答であった。一方、「あまり意義はなかった」との回答は、12.7%であった。

【図表2】子どもたちへの意義（回答者数284票）（単数回答）

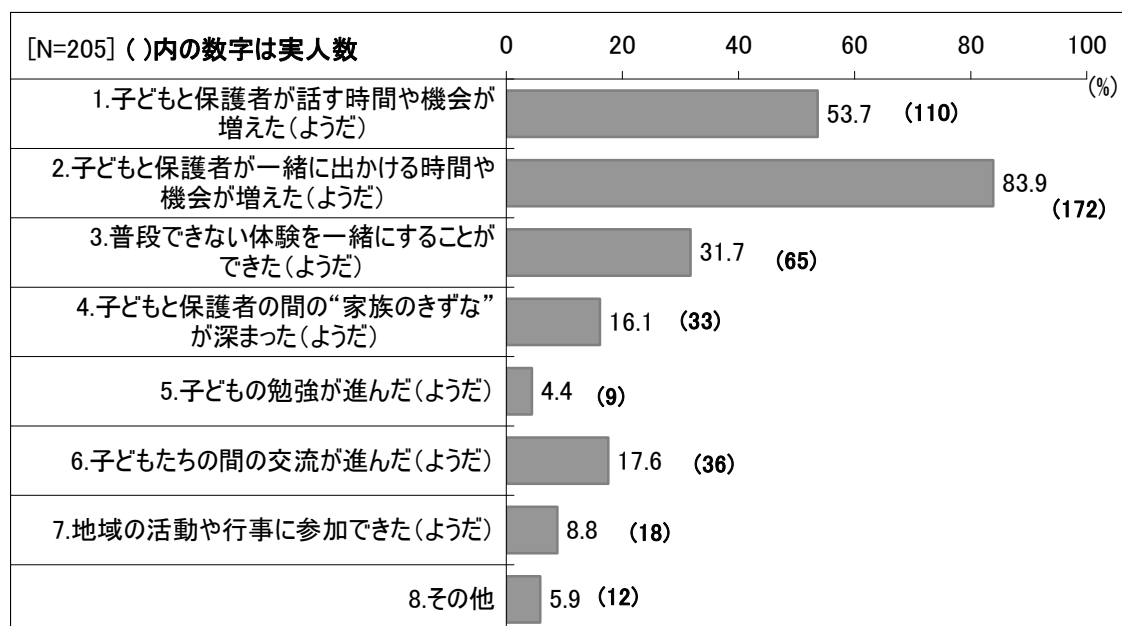


※図表内のNは設問への回答者数である

問3 問2で「1.非常に意義があった」「2.ある程度意義があった」と答えた方にお聞きします。子どもたちにとってどのような意義があったと思われますか。(あてはまる番号すべてに○印をお付けください)

「子どもと保護者が一緒に出かける時間や機会が増えた(ようだ)」が最も多く(83.9%)、次いで「子どもと保護者が話す時間や機会が増えた(ようだ)」(53.7%)、「普段できない体験を一緒にすることができた(ようだ)」(31.7%)の順であった。

【図表3】子どもたちへの意義の内容(回答者数205票)(複数回答)

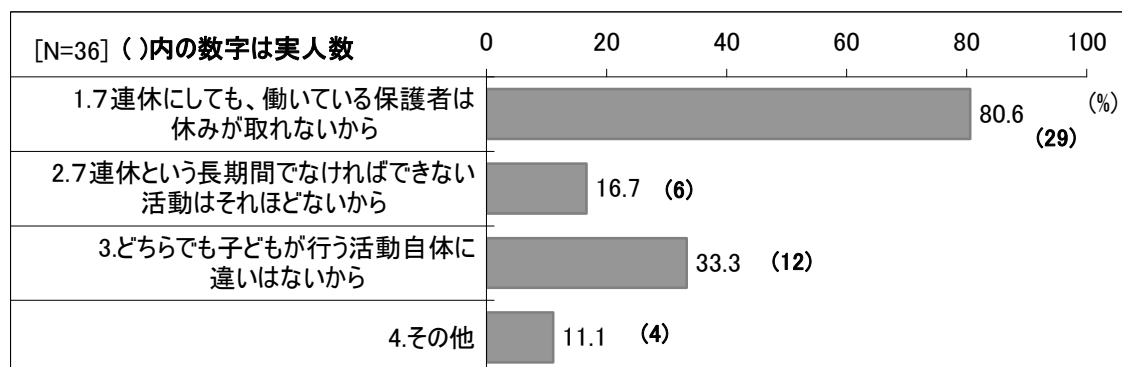


※図表内のNは設問への回答者数である

問5 問2で「3.あまり意義はなかった」と答えた方にお聞きします。その理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○印をお付けください)

「7連休にしても、働いている保護者は休みが取れないから」が最も多く(80.6%)、次いで「どちらも子どもが行う活動自体に違いはないから」(33.3%)、「7連休という長期間でなければできない活動はそれほどないから」(16.7%)の順であった。

【図表4】子どもたちに意義がないと感じた理由(回答者数36票)(複数回答)

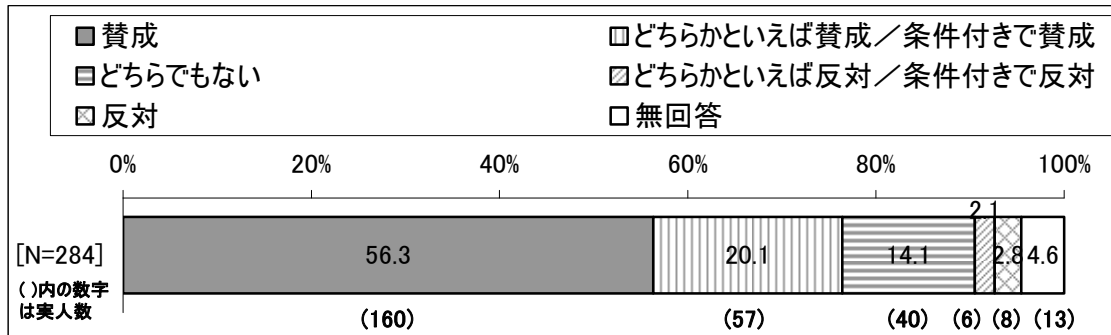


※図表内のNは設問への回答者数である

問 6 今回のように、休日を振り替えることにより、飛び石連休をより長い期間の連続した休日とする運用について、どのようにお考えですか。(1つだけ○印をお付けください)

「賛成」が 56.3%で最も多く、「どちらかといえば賛成／条件付き賛成」(20.1%)と合わせ、連続した休日とする運用について肯定的な回答は約 8 割となった。一方、「どちらかといえば反対／条件付きで反対」(2.1%)、「反対」(2.8%) と、連続した休日とすることについて否定的な回答は全体の 5%程度であった。

【図表 2】連続した休日とする運用について（回答者数 284 票）（単数回答）



※図表内の N は設問への回答者数である